

国立大学法人の「戦略性が高く意欲的な目標・計画」追加申請一覧

1. 新たに認定申請のあった中期計画

(新規の中期計画、または既存の中期計画で変更を行うもの)

法人番号	法人名	ユニット (番号・名称)	概要	計画 番号	認定 (案)	該当中期計画	戦略性が高く意欲的であると 法人が考える根拠・理由
10	東北大学	1 世界を牽引する 博士人材養成、 最先端の国際 共同研究推進 及び戦略的研 究拠点形成の 加速	本学の研究力の強み・弱みの客観的な分析に基づき、海外の有力大学との協働により「国際共同大学院プログラム」を設置し、グローバルな視野を持った世界を牽引する高度な博士人材の養成、世界トップを目指すあるいは社会的使命として世界に先駆けて創成すべき分野の世界的研究拠点の形成、世界最高水準の外国人研究者を招へいする「知のフォーラム」事業の推進等により最先端の国際共同研究を推進する。加えて、研究組織をミッション別に三階層化した基盤体制(研究イノベーションシステム)を構築して戦略的な研究拠点形成を加速する。	30	認定	本学の総力を挙げて最先端研究に取り組むため、研究組織をミッション別に三階層化した基盤体制(研究イノベーションシステム)を構築し、その第一階層となる高等研究機構に設置した物質・材料分野(材料科学高等研究所)の強化を着実に進め、高等研究機構に新たな分野・研究組織等を順次整備して、世界最高水準の研究環境及び研究支援体制を拡充するとともに、高等研究機構と研究科・附置研究所等との有機的な連携を促進する。	(A)法人の機能強化に向けて先駆的・先導的に取り組むもの (C)法人の機能強化に向けての法人の強み・特色を一層明確化するため、重点的な資源の再配分を行い、具体的かつ高い水準の達成目標を掲げ取り組むもの 研究組織をミッション別に三階層することにより、部局の壁を超えた研究ユニットを機動的に編成可能とし、戦略的な研究拠点形成を可能とするとともに、高等研究機構と研究科、附置研究所等有機的な連携を促進することにより、横断的分野融合研究を戦略的・重点的に推進する体制を強化する計画であるため。
10	東北大学	5 イノベーションを 先導する世界的 産学連携研究 開発拠点の構 築	立地条件に恵まれた青葉山新キャンパスの環境を活用した国立大学最大の産学共創スクエアを構築して、産学官の知・技術・人材が交差・循環する価値創造の場を拡大する。	34	認定	大学の研究成果を企業等と連携したイノベーション創出につなげるため、世界標準の産学連携マネジメントを推進する産学連携機構の整備・充実を進めるとともに、組織的産学連携を促進するプレマッチングファンド制度の拡充、青葉山新キャンパスの環境を活用して産学連携組織群を集約するアンダー・ワン・ルーフ型産学連携拠点の構築、「産学連携特区(仮称)」制度の構築、「共同研究講座・共同研究部門」の対平成27年度比で2倍増、人文社会科学分野の積極的な参画による産学連携に関する政策提言機能の整備、産学連携マネジメントを担う高度人材の実践的な育成プログラムの構築等を通じて、産学間のパートナーシップを進める。	(A)法人の機能強化に向けて先駆的・先導的に取り組むもの (C)法人の機能強化に向けての法人の強み・特色を一層明確化するため、重点的な資源の再配分を行い、具体的かつ高い水準の達成目標を掲げ取り組むもの アンダー・ワン・ルーフ型の産学連携拠点を構築する構想は、産学連携推進の本部機能等を結集することで産学連携機能が強化されることを目的に、複数キャンパスに分散している産学連携組織群を、青葉山新キャンパスの地下鉄駅付近に集約した国立大学最大規模の産学連携拠点を構築するものであり、産学連携機能の強化と新青葉山キャンパスの組織・施設・フィールドを最大限に活用して産学共創と課題解決型研究を推進する意欲的な取組であるため。
10	東北大学	6 アカデミックガバ ナンスの機能強 化	総長のリーダーシップの下で、教学マネジメントを統括して迅速な意思決定と執行権を行使できるシステムの整備など経営の総合性、戦略性、機動性等を確保するための仕組みを強化する。	55	認定	大学が戦略をもって活動展開するため、本学構成員、経営協議会の学外委員、国際アドバイザリーボードなどの様々な意見を収集・分析し、総長のリーダーシップの下で、教学マネジメントを統括して迅速な意思決定と執行権を行使できるシステムの整備など体制の強化を図り、大学経営における役割・機能の分担の明確化・最適化を行う。	(A)法人の機能強化に向けて先駆的・先導的に取り組むもの 大学経営力強化に向けて、ガバナンス及びマネジメントが一体となって有効に機能するインフラ整備を進めた上で、多様な課題に即応し、全体を鳥瞰して、いかなる価値を優先するかを総合的・戦略的に判断して迅速に取組を実行できる経営システム強化の先導的な取組であるため。

1. 新たに認定申請のあった中期計画

(新規の中期計画、または既存の中期計画で変更を行うもの)

法人番号	法人名	ユニット (番号・名称)	概要	計画 番号	認定 (案)	該当中期計画	戦略性が高く意欲的であると 法人が考える根拠・理由
38	金沢大学	2 世界最高水準の研究拠点を 目指した卓越研究 分野の先鋭化に よる研究機能の 強化	世界的な学問の潮流を見据え、大学の 強み・特色を生かした分野融合型研究 を組織的に展開することにより、卓越し た研究分野をより先鋭化し、国際的な 研究拠点を旨す。	6-5	認定	ナノレベルでの様々な生命現象の仕組みの根本的 理解を目指し、世界トップレベル研究拠点プログラ ム(WPI)に採択された「ナノ生命科学研究所」を設 置するとともに、同研究所の主体的な運営が十分 に発揮される制度を構築し運用する。	(A)法人の機能強化に向けて先駆的・先導的に取 り組むもの 「世界トップレベル研究拠点プログラム(WPI)」に採 択された研究拠点として、最先端の研究所にふさ わしい先駆的・先導的な制度の構築及び運用に取 り組む計画であるため。
52	京都大学	6 高度な頭脳循 環の形成に向け た人材獲得・育 成	優秀で志の高い学部留学生が日本人 学生と共に学ぶ教育プログラムを構築 し、段階的に展開するほか、優秀な留 学生を戦略的・積極的に誘致する「留 学生リクルーティングオフィス(仮称)」を 設置して、各国の教育事情等の調査分 析を基に全学体制で優秀な留学生の 獲得のための広報・誘致活動を推進す る。	80	認定	学部段階から優秀で志の高い留学生を積極的に 受け入れ、日本人学生と共に学ばせる教育プログラ ム「Kyoto University International Undergraduate Program」(以下「Kyoto iUP」とい う。)を推進し、社会が求める人材を育成する。	(A)法人の機能強化に向けて先駆的・先導的に取 り組むもの 高度な教育を受けかつ日本語が話せる外国人は、 日本の企業のみならず、現地企業からのニーズが 非常に高い。 本教育プログラムの推進は、このような語学障壁の ない優秀な人材を学部段階から育成するものであ り、まず半年間の予備教育で日本語の基礎能力を 涵養させる。その後、学士課程において、2年間は 英語又は日本語による教養・共通教育を、後半2 年間は日本語による専門教育を行う我が国の国際 競争力の強化に寄与する先駆的・先導的な取組 である。
52	京都大学	6 高度な頭脳循 環の形成に向け た人材獲得・育 成	優秀で志の高い学部留学生が日本人 学生と共に学ぶ教育プログラムを構築 し、段階的に展開するほか、優秀な留 学生を戦略的・積極的に誘致する「留 学生リクルーティングオフィス(仮称)」を 設置して、各国の教育事情等の調査分 析を基に全学体制で優秀な留学生の 獲得のための広報・誘致活動を推進す る。	82	認定	優秀で意欲のある留学生を確保するため、「留 学生リクルーティングオフィス」(仮称)を設置し、各国 の教育事情等の調査分析を踏まえた戦略的な広 報・誘致活動を行う。	(A)法人の機能強化に向けて先駆的・先導的に取 り組むもの 世界トップレベル大学として、さらなる国際化が求め られる中、多様化する留学ニーズの把握や潜在的 な学生需要の発掘が求められている。こうした中、 外国人留学生の受入数を3,300名(通年)に増加 させる高い目標の達成に向け、本オフィスではにお いて、世界各国の留学生市場の分析を行い、積極 的に広報・募集活動を実施するものであり、本学 の高い教育研究レベル等の魅力発信により、質の 高い留学生の獲得とその育成に寄与する先駆的・先 導的な取組である。

1. 新たに認定申請のあった中期計画

(新規の中期計画、または既存の中期計画で変更を行うもの)

法人番号	法人名	ユニット (番号・名称)	概要	計画 番号	認定 (案)	該当中期計画	戦略性が高く意欲的であると 法人が考える根拠・理由
52	京都大学	7 「GST(Graduate Student Training)センター」(仮称)によるTA・RAの質の向上		81	認定	次代を担う教員候補者及び国際社会で活躍する人材の育成に向け、ティーチング・アシスタント(TA)及びリサーチ・アシスタント(RA)業務の質向上や制度充実を目的として、新たに「GST(Graduate Student Training)センター」(仮称)を設置する。	(A)法人の機能強化に向けて先駆的・先導的に取り組むもの TA・RAへの指導は、これまで教員に委ねていたが、本センターを設置し、全学統一のトレーニングを実施することにより、TA・RAの質が担保され、大学院教育課程の全体的な質向上のほか、学生のキャリアアップに資するものである。 また、その結果として、教員の研究エフォートが実質的に増加し、大学全体の研究力の向上に寄与する先駆的・先導的な取組である。
52	京都大学	9 柔軟かつダイナミックな体制による知の創造に向けた研究力(国際競争力)の強化	京都大学の強みを活かした世界を先導する最先端研究や人文・社会科学研究の再構築に向けた国際化を推進するほか、大学間連携や国際共同研究、人材交流の促進などにより、世界に卓越した国際競争力のある学術研究を推進する。	83	認定	基盤的、先端的、独創的及び学際的研究を推進する。特に、再生医療分野と医学生物学分野、化学と生命科学との融合分野では、世界を先導する最先端研究を推進し、国際的に評価の高いジャーナル(Top5%)に掲載される大学全体の論文数を、第3期のいずれかの年において800篇を達成する。また、我が国の人文・社会科学研究の再構築に向け、一層の国際化を推進する。特に、京都の文化や日本の思想に強い関心を持つ世界中の学生や研究者との交流を促進するとともに、その支援を充実させる。	(B)取組の重要性を踏まえ、かなり高い数値目標を掲げて取り組むもの:基盤的、先端的、独創的及び学際的研究を推進し、特に再生医療分野と医学生物学分野、化学と生命科学との融合分野を中心に、国際展開を加速させることにより、我が国発の新しい研究領域の創成や顕在化する地球規模課題解決を図るものである。なお、本目標値は、世界大学ランキングの上位大学(THE:30~50位)の状況を鑑み設定したものであることから、かなり高い数値目標を掲げた取組である。 具体的には、世界最先端研究を推進する研究拠点を組織し、独創的な研究をさらに推進するほか、次世代若手研究者の育成と新領域開拓の実現等に貢献するもので、その結果として、国際的に評価の高いジャーナルへの掲載論文数を向上させる取組である。 (A)法人の機能強化に向けて先駆的・先導的に取り組むもの: 我が国の人文・社会科学研究の再構築に向け、京都の文化や日本の思想に強い関心を持つ世界中の学生や研究者の本学への留学・滞在とその教育研究環境の整備や、本学の研究者への海外派遣・国際的な共同研究の支援により、一層の国際化を推進するもので、京都から人類のために人文学の新しい潮流の形成と世界への発信を目指す先駆的・先導的な取組である。

1. 新たに認定申請のあった中期計画

(新規の中期計画、または既存の中期計画で変更を行うもの)

法人番号	法人名	ユニット (番号・名称)	概要	計画 番号	認定 (案)	該当中期計画	戦略性が高く意欲的であると 法人が考える根拠・理由
52	京都大学	9 柔軟かつダイナミックな体制による知の創造に向けた研究力(国際競争力)の強化	京都大学の強みを活かした世界を先導する最先端研究や人文・社会科学研究の再構築に向けた国際化を推進するほか、大学間連携や国際共同研究、人材交流の促進などにより、世界に卓越した国際競争力のある学術研究を推進する。	84	認定	優秀な研究者・学生の獲得や人材育成、海外の産業界との連携等を戦略的に促進するため、海外大学等との双方向型研究交流をチーム単位で行う「On-site Laboratory」(現地運営型研究室)の制度を創設し、設置する。	(A)法人の機能強化に向けて先駆的・先導的に取り組むもの 海外の大学や研究機関等との間で現地運営型研究室を相互に設置するシステムを推進し、より多くの若手の教員・研究者に海外での研究・教育経験を積極的に積ませ、独創的・先端的な研究を推し進める機会を提供するものである。 これにより、教員・研究者・事務職員の獲得のみならず、優秀な外国人留学生の増加や現地の産業界との連携が可能となるほか、国際共同学位(ジョイント・ディグリー/ダブル・ディグリー)プログラムへの発展等にも寄与する先駆的・先導的な取組である。
52	京都大学	11 事業会社設立によるコンサルティング・シンクタンク事業等の展開		85	認定	世界最高水準の独創的な研究開発の成果等を社会的価値の創出へとつなげるため、新たに事業会社を設立し、コンサルティング・シンクタンク事業など研究成果・知的財産を活用した取組を展開する。	(A)法人の機能強化に向けて先駆的・先導的に取り組むもの 本事業により、産官学連携事業における株主としてのコーポレート・ガバナンスを強化することにより、社会的価値創出の最大化を図り、本学の研究成果・知的財産の活用を促進するものである。 これにより、戦略的な知財管理・ライセンスや新たな産官学連携活動が促進され、全学の研究教育活動のパフォーマンス向上にも寄与する先駆的・先導的な取組である。

1. 新たに認定申請のあった中期計画

(新規の中期計画、または既存の中期計画で変更を行うもの)

法人番号	法人名	ユニット (番号・名称)	概要	計画 番号	認定 (案)	該当中期計画	戦略性が高く意欲的であると 法人が考える根拠・理由
52	京都大学	12 京大版プロボスト 及び戦略調整 会議による機動的 ガバナンスの 構築		52	認定	<p>総長が迅速な意思決定を行えるよう、機動的なガバナンスの構築を目指し、IR機能の強化など継続的に体制を見直すとともに、本学の理念及び特色を反映した戦略を策定する。また、執行部と部局との連携調整の下に戦略立案を担当する理事(京都大学版プロボスト)及び調整機能の場として戦略調整会議を設置する。</p>	<p>(A)法人の機能強化に向けて先駆的・先導的に取り組むもの</p> <p>大学の将来構想や組織改革など包括的課題について、部局や学系と密接な連携調整のもとに企画・戦略立案を図る「京大版プロボスト」を大学本部に配置し、同職による部局・学系との恒常的調整機能の場として「戦略調整会議(Council)」を創設する取り組みを加えるものである。</p> <p>これにより、大学本部からのトップダウンの方針と各部局や学系からのボトムアップの意思について、多様な部局の自立性を尊重した強力な大学本部ガバナンスの徹底と迅速な施策の執行が可能となるほか、大学運営に携わる人材の持続的育成にも寄与する先駆的・先導的な取組である。</p>

2. 継続認定申請のあった中期計画

(既存の中期計画で変更を行うもの)

法人番号	法人名	ユニット (番号・名称)	概要	計画 番号	根拠	認定 (案)	該当中期計画	該当中期計画(現行)
10	東北大学	1 世界を牽引する 博士人材養成 及び最先端の国 際共同研究の 推進	本学の研究力の強み・弱みの客観的な分析に基づき、スピントロニクス分野、データ科学分野をはじめとする海外の有力大学との協働により7つの「国際共同大学院プログラム」を設置し、グローバルな視野を持った世界を牽引する高度な博士人材の養成、世界最高水準の外国人研究者を招へい等する「知のフォーラム」事業の推進等により最先端の国際共同研究を推進する。	7	AC	認定	世界を牽引する高度な人材の養成のため、学位プログラム推進機構の下で、スピントロニクス分野、データ科学分野をはじめとする海外の有力大学との協働による7つの「国際共同大学院プログラム」、産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くための「博士課程教育リーディングプログラム」、異分野を融合した新しい研究分野で世界トップレベルの若手研究者を養成する学際高等教育院の教育プログラムの学位プログラムを15プログラムに拡大し、これらを「東北大学高等大学院機構(仮称)」として組織する。	世界を牽引する高度な人材の養成のため、学位プログラム推進機構の下で、スピントロニクス分野、データ科学分野をはじめとする海外の有力大学との協働による7つの「国際共同大学院プログラム」、産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーへと導くための「博士課程教育リーディングプログラム」、異分野を融合した新しい研究分野で世界トップレベルの若手研究者を養成する学際高等教育院の教育プログラム等を実施する。
10	東北大学	1		21	AC	認定	本学における材料科学、スピントロニクス、 <u>未来型医療、災害科学</u> 等の分野の強み・特色を最大限に活かし、国際競争力の一層の強化を図るため、国際水準の大学・研究機関等との学術ネットワークの充実、海外拠点の利活用、世界最高水準の外国人研究者の招へい等を進めて <u>世界的研究拠点を形成し、最先端の国際共同研究を推進して、国際共著論文数を対平成27年度比で20パーセント以上増加させるとともに、国際会議の主催・招待講演等</u> を通じて研究成果の発信を行う。	本学におけるスピントロニクス、材料科学等の分野の強み・特色を最大限に活かし、国際競争力の一層の強化を図るため、国際水準の大学・研究機関等との学術ネットワークの充実、海外拠点の利活用、世界最高水準の外国人研究者の招へい等を進め、最先端の国際共同研究を推進し、国際共著論文数を対平成27年度比で20パーセント以上増加させるとともに、国際会議の主催・招待講演等を通じて研究成果の発信を行う。
16	筑波大学	2 研究システム改 革による世界ト ップレベルの最先 端研究の展開	研究センターの改組・再編・集約など既存の研究システムを大胆に改革し、真理を深く探究する研究(基盤研究、学際横断型研究)と社会還元型研究の両面において、世界トップレベルの最先端研究を展開する。	26	BC	認定	重点的な研究支援を一層加速し、WPI「国際統合睡眠医科学研究機構」や計算科学研究センター、生命領域学際研究センター(TARA)、人文社会国際比較研究機構、 <u>つくば機能植物イノベーション研究センター</u> 、下田臨海実験センター等を中心に世界トップレベルの研究を推進する。 <KPI: 相当数の研究領域において世界100位以内を実現>	重点的な研究支援を一層加速し、WPI「国際統合睡眠医科学研究機構」や計算科学研究センター、生命領域学際研究センター(TARA)、人文社会国際比較研究機構、 <u>数理物質融合科学センター、地球・人類共生科学研究機構、遺伝子実験センター</u> 、下田臨海実験センター等を中心に世界トップレベルの研究を推進する。 <KPI: 相当数の研究領域において世界100位以内を実現>

2. 継続認定申請のあった中期計画

(既存の中期計画で変更を行うもの)

法人番号	法人名	ユニット (番号・名称)	概要	計画 番号	根 拠	認定 (案)	該当中期計画	該当中期計画(現行)
16	筑波大学	2 研究システム改革による世界トップレベルの最先端研究の展開	研究センターの改組・再編・集約など既存の研究システムを大胆に改革し、真理を深く探究する研究(基盤研究、学際横断型研究)と社会還元型研究の両面において、世界トップレベルの最先端研究を展開する。	29	AC	認定	<p>基幹基礎研究、学際横断型研究、大学の戦略に基づく研究をバランスよく進めるとともに、各研究組織に対する支援や権能付与を全体として整合的でも評価に基づくものとするため、研究センターの改組・再編・集約のための見直し結果を踏まえ、学内の研究組織を学術的な先端研究センターと開発研究センターに大別し、学術的な先端研究センターについては5年ごとに評価を実施し段階認定(4段階(R1~R4))を行う仕組みを導入する。なお、開発研究センターは運営活動経費をすべて外部資金により賄い、社会実装を目指した研究活動を行うものとする。</p> <p>また、この仕組みの導入に併せて、これまで進めてきた研究センター見直し結果を踏まえ、研究センターから教育研究支援センター等への転換、研究センターの集約・再編、リサーチユニットへの転換を実施する。</p> <p>R1:世界級研究拠点 R2:全国級研究拠点 R3:重点育成研究拠点 R4:育成研究拠点(リサーチユニット)</p> <p><KPI:平成28年度までにすべての研究センターの改組・再編・集約計画を策定し、当該計画に基づき改組再編集約を順次実施。各研究センターに対する支援の内容・水準と各研究センターに付与される学内権能が、各段階に相応し、しかも全体として整合的であるように、平成30年度までに整理し、ルール化を実施。></p>	<p>基幹研究組織(WPI「国際統合睡眠医科学研究機構」、計算科学研究センター、生命領域学際研究センター(TARA)など)を中核として研究センターの改組・再編・集約を進める。</p> <p><KPI:平成28年度までにすべての研究センターの改組・再編・集約計画を策定し、当該計画に基づき改組再編集約を順次実施></p>
22	東京大学	2 多様性を活力とする卓越した教育研究の実施	多様性を活力とする卓越した教育研究の基盤を充実するとともに、女性教員比率や女性幹部職員登用率の向上などの教職員構成の多様化推進を目指す。	27	A	認定	<p>卓越した若手研究者が、安定性のあるポストに就きながら、産学官の機関や分野の枠を越えて、独創的な研究に専念できる環境の整備を組織的に行い、それに必要なポストとして300ポストの確保及び若手教員比率を28%以上とすることを旨とする。</p> <p>また、研究者の多様化推進の観点から、組織的に社会人の研究者や外国人研究者、女性研究者の積極的な採用と育成に重点を置くとともに、将来の研究を担う女子学生や留学生に対して明確なキャリアパスを示し、修士・博士課程への進学を奨励する。</p>	<p>卓越した若手研究者が、安定性のあるポストに就きながら、産学官の機関や分野の枠を越えて、独創的な研究に専念できる環境の整備を組織的に行い、それに必要なポストとして、300ポスト確保することを目指す。また、研究者の多様化推進の観点から、組織的に社会人の研究者や外国人研究者、女性研究者の積極的な採用と育成に重点を置くとともに、将来の研究を担う女子学生や留学生に対して明確なキャリアパスを示し、修士・博士課程への進学を奨励する。</p>

2. 継続認定申請のあった中期計画

(既存の中期計画で変更を行うもの)

法人番号	法人名	ユニット (番号・名称)	概要	計画 番号	根 拠	認定 (案)	該当中期計画	該当中期計画(現行)
52	京都大学	5 「京都大学ジャンゲートウェイ構想」の実現に向けた取組	「京大グローバルアカデミー」の理念のもと、11年後を見据えた入試から大学院までの教育改革と国際化により次世代のトップレベル研究者をシステムティックに輩出することが可能となるようなプログラムを構築するとともに、優れた外国人教員の雇用を組織的・戦略的に増加させ、国際化の取組を推進する。	36	B	認定	国際高等教育院附属国際学術言語教育センター(i-ARRC)の強化、研究連携基盤内に置く学際的研究組織(未踏科学研究ユニット)の体制整備及び「On-site Laboratory」の設置等により、優れた外国人教員等の雇用を組織的・戦略的に推進し、それらの数を延べ500人に増加させる。	国際高等教育院附属国際学術言語教育センター(i-ARRC)の強化や、研究連携基盤内に創設する学際的研究組織(未踏科学研究ユニット)の体制整備等により、優れた外国人教員の雇用を組織的・戦略的に推進し、外国人教員増設計画として外国人教員数を平成28年10月までに延べ282人に増加させ、それを維持する。
53	京都教育大学	3 リージョナルセンターとして教員養成・研修の高度化推進	地域の教育委員会や学校と連携した先進的な研修プログラムの研究開発や開発した研修講座の実施、義務教育学校モデルの構築などによって、地域の教員養成・研修高度化において中心的役割を担う。	30	A	認定	京阪奈三教育大学の連携により、教員養成・研修の高度化と質保証、新たな学びに対応できる次世代教員養成及び教員研修の課題に協働して取り組み、平成29年度までに各連携拠点で開発されたプログラム等を点検・実施し、平成30年度以降は、その成果に基づき各連携拠点の機能を充実させて運営を継続しつつ、 <u>地域の教育委員会と連携・協働し、現職教員の教育・研修機能を強化するとともに現職教員の「働き方改革」に貢献するための先進的な研修手法の開発と活用をめざし、京阪奈地域におけるリージョナル・レベルでの教員養成・研修高度化のための連携モデルを構築する。</u> また、 <u>センター機構の組織整備により機能強化した教職キャリア高度化センター</u> を核として、京都府・市教育委員会との連携・協働により、初任期の教員支援や教員研修高度化のためのICTを活用した初任期支援システムやWeb講義等の事業を推進する。平成28年度には大阪教育大学と奈良教育大学の教員も参加したWeb講義を実施する。	京阪奈三教育大学の連携により、教員養成・研修の高度化と質保証、新たな学びに対応できる次世代教員養成及び教員研修の課題に協働して取り組み、平成29年度までに各連携拠点で開発されたプログラム等を点検・実施し、平成30年度以降は、その成果に基づき各連携拠点の機能を充実させて運営を継続しつつ、京阪奈地域におけるリージョナル・レベルでの教員養成・研修高度化のための連携モデルを構築する。また、 <u>教職キャリア高度化センター運営会議</u> 等を通じた京都府・市教育委員会との連携・協働により、初任期の教員支援や教員研修高度化のためのインターネットを通じたWebポータルシステムやWeb講義等の事業を推進する。平成28年度には大阪教育大学と奈良教育大学の教員も参加したWeb講義を実施する。